スリランカの統合医療世界大会にて“和ハーブ”が注目！

統合医療世界大会にて“和ハーブ”が注目！
日本原産の薬草などについて当協会理事長で医学博士の古谷 暢基が発表

当協会の理事長であり、医学博士の古谷
暢基が２０１６年１１月２２日火曜日（スリランカ現地時間）
に開催された「World Congress of Integrated Medicine
2016（国際代替医療大学・統合医療世界大会2016）」
で日本人初の登壇を行った。

内容は、国際的に注目が高い「和ハーブ（＝日本の有用植物）」について発表。

古谷 暢基は、“日本医療の父”北里柴三郎のほぼ直系の子孫で、
国際代替医療大学（International Open University of Complement Medicine,
http://www.oiucmed.net/）
の医学博士の称号を持つ。

当大学はスリランカ・コロンボ市にあり、1978年の「アルマ・アタ宣言」
（伝統医療と予防医学の重要性の見直しを説いたＷＨＯによる世界宣言）の
実践の拠点として国連およびＷＨＯより、世界唯一の指定校（モデル校）とされている。
スリランカ初代大統領の直接の働きかけによる
1962年の創立時には、あのマザー・テレサもメッセージを寄せ、
スリランカ国内ではコロンボ大学などと並ぶ格式で、
現在は全世界に150の支部を持つ名門中の名門だ（日本は2017年設立予定）。

世界一の長寿国の日本を支えてきた自然療法と、
「ドクダミ（ドクダミ科）」、「クロモジ（クスノキ科）」、「カキドオシシソ科）」などの
日本独特のハーブ「和薬」について発表した。

＜協会概要＞
【代表理事】古谷 暢基（ﾌﾙﾔ ﾏｻｷ）
【設 立】2009年10月
【コンセプト】埋もれつつある日本人の植物文化、伝統を次世代に受け継ぎ、予防医学の面から
も広めていく

【活 動】和ハーブ検定・全国各地で開催の和ハーブ塾（フィールドワーク）・
和ハーブレストラン/和ハーブ専門店の運営、等

＜和ハーブ検定概要＞
開催スケジュール：年3回 全国で一斉開催（次回は2017年3月11日 ）
試験内容：和ハーブの種類、身体への機能性、利用法、文化・歴史との関わりなどを学ぶ

＜本件に関するお問い合わせ＞
（一社）和ハーブ協会 広報:比企（ヒキ）
TEL：03-6435-3863　FAX：03-6435-3861　E-mail：info@wa-herb.com

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com